

# 経営比較分析表

岡山県 久米南町

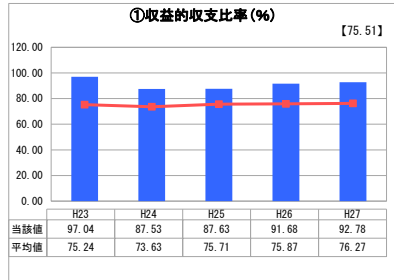
業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	96.25	4,536

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
5,115	78.65	65.03
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
4,896	78.15	62.65

## グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成27年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



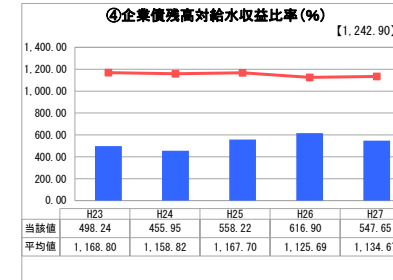
「単年度の収支」



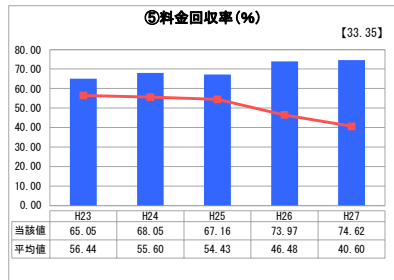
「累積欠損」



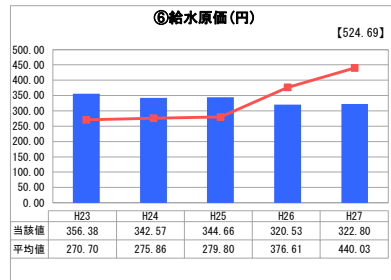
「支払能力」



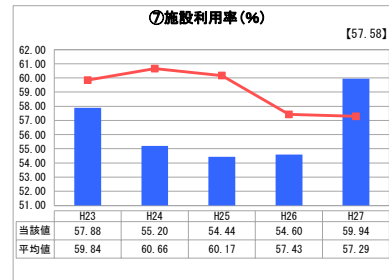
「債務残高」



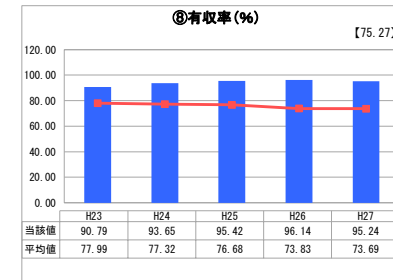
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

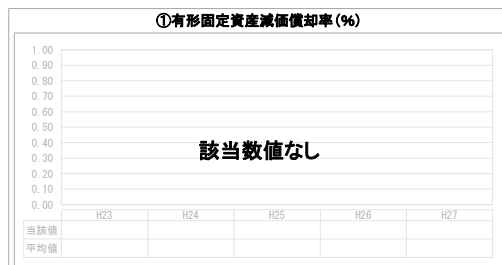


「施設の効率性」



「供給した配水量の効率性」

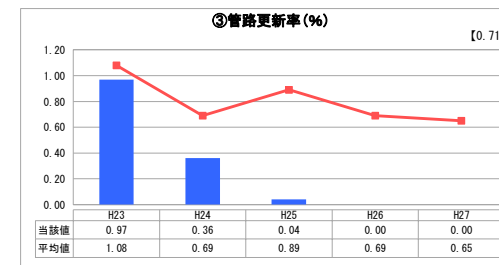
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

給水原価については、類似団体と比較して低い水準にありますが、今後も適正な維持管理に努めていく必要があります。施設利用率については、以前と比較して効率的に給水を行っていると考えられます。以上から経営の健全性、効率性は概ね確保されていると思われます。

### 2. 老朽化の状況について

日常の維持管理を充実強化するとともに、施設等の計画的な改築、更新を行います。

### 全体総括

安定供給の実現には企業団からの受水は不可欠ですが、受水費の負担は簡易水道経営に大きな影響をあたえることから、今後も十分な検討が必要となります。また、適正な設備の整備を行い、経常経費等の見直しを行うなど経営の健全化に努めます。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。